

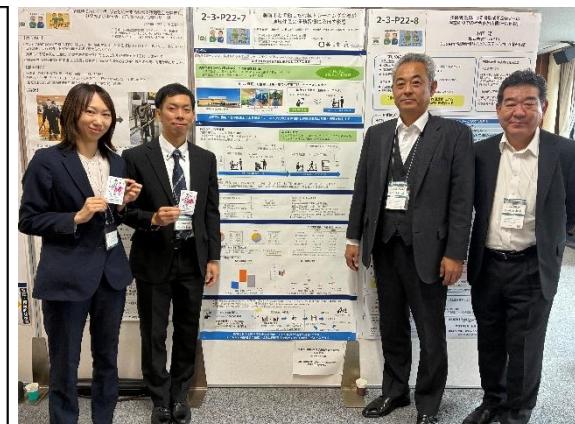
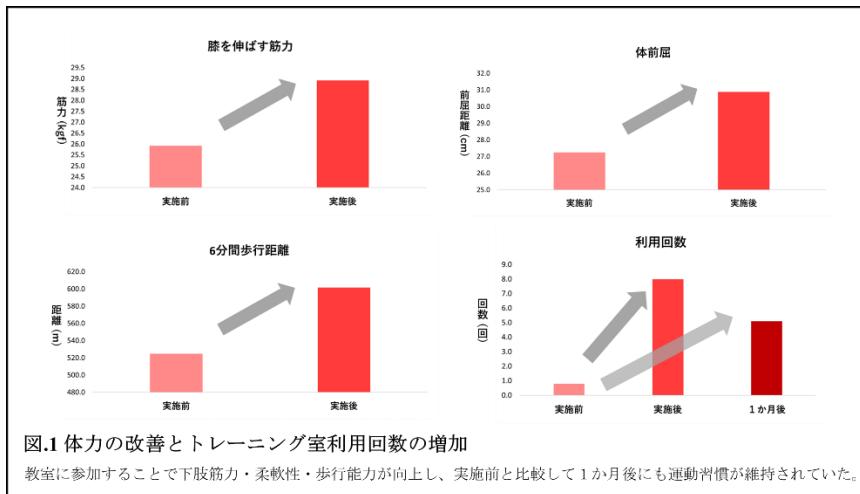
学術大会で報告

—教育委員会と理学療法士の協働による「まちの体育館」で体力つくり —

美唄市教育委員会と理学療法士が協働して行った「体力つくり教室」の成果が、第12回 日本地域理学療法学会学術大会（2025年10月11-12日）で発表されました。この教室は2025年1月から3月にかけて、美唄市総合体育館トレーニング室で行われ、理学療法士がトレーニングマシンの安全な使い方を指導し、参加者が教室終了後も自分のペースで運動を続けられるよう支援しました。

結果として、参加者の多くで体力の向上に加え、心理面や生活環境への満足感（QOL）が向上し、1か月後にも運動習慣が維持されていたことが確認されました。

体育館という“まちの資源”を活かしたこの取り組みは、子どもから高齢者までが運動習慣を育む新しい地域モデルとして、全国から注目されました。



右から教育委員会生涯学習課 川西勝幸氏、大沼拓一朗氏
理学療法士 片岡義明氏、新田麻美氏

出典: 新田麻美, 片岡義明, 大野大地, 大沼拓一朗, 川西勝幸, 近藤和樹, 松本優大, 高橋宜大. 美唄市と協働した機械トレーニング指導が地域住民の運動習慣に及ぼす影響. 第12回日本地域理学療法学会学術大会(札幌), 2025.